学校番号	3016

令和５年度　工業科（産業創造系）

教科	工業	科目	ﾃｷｽﾀｲﾙﾃﾞｻﾞｲﾝ実習	単位数	６単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

テキスタイルデザイン実習は、テキスタイル製品やデザイン、ＩＣＴ技術を総合的に理解し、実習以外の科目で学んだ創造性と組み合わせて新しい製品を提案できるようになることが目標です。実習の中では、３年生の実習では今までに学んできたことのまとめとして位置付けています。自分の考えたアイデアをどうすれば効果的に提案できるのかを考えながら実習に取り組むなど学習の効果を高めるよう工夫しましょう。

２　学習の到達目標

テキスタイルデザイン専科に関するテキスタイルデザイン・ＩＣＴの基礎技術を実際の作業を通して総合的に習得させ、技術革新に主体的に対応できる能力と態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	テキスタイル製品やデザインに関する課題について関心をもち、その改善・向上をめざして主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。	テキスタイル製品やデザインの解決をめざして思考を深め、基礎的･基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	テキスタイル製品やデザインに関する基礎的・基本的な技術を身に付け、環境に配慮し、ものづくりを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	テキスタイル製品やデザインに関する基礎的・基本的な知識を身に付け、現代社会における工業の意義や役割を理解している。
評価方法	学習状況の観察 ワークシートの記述 製作品 観察記録表 レポート、発表 自己評価・相互評価　等	学習状況の観察 ワークシートの記述 製作品 観察記録表 レポート、発表 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 製作品 観察記録表 レポート自己評価・相互評価　等	学習状況の観察 ワークシートの記述 製作品 観察記録表 レポート、発表 自己評価・相互評価等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

ローテーション	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
パート1	グラフィックデザイン	概要説明 構成演習 抽象化演習 色彩演習 発想演習 反復演習 コンセプトの設定 制作Ⅰ 制作Ⅱ 制作Ⅲ 制作Ⅳ プレゼン	◎ ◎ ○ 	 ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ○ ◎ ◎ ◎ ◎ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 	 ○ ◎	a:コンセプトに基づいたグラフィックデザインの作成に興味を持ち、意欲的に取り組んでいる。 b:表現のための様々なデザインの論理的展開を考え、またコンセプトに合ったデザインを表現しようとしている。 c:使用する画材や用具の使用目的と方法を理解し、必要に応じて適正に使用できる。 d:グラフィックデザインに関する知識を身につけ、社会に発信する意義を理解し、考えることができる。	学習状況の観察 制作品 レポート、発表 自己評価・相互評価等
パート2	テキスタイルⅠ	タオルの概要について ジャガード織機について コンピュータにおいて組織柄の制御を理解し、精錬・漂白では安全に作業を行い、作品を制作する 作品の評価と成果表現	○ ◎ ○	 ○ ◎	 ○ ◎ 	◎ ◎ ○	a:織物（ここでは特にタオル）の製造に興味を持ち、意欲的に取り組んでいる。 b:各回の実習内容に興味を持ち、作業に関する意味や意図を理解し、それをレポートとして表現、発表することができている。 c:タオルの製造手順を理解し、作品を制作することができている。 d:タオルの特徴・特性・製造方法・歴史について理解している。ジャガード機の特徴について理解している。	学習状況の観察 製作品 作品発表 自己評価・相互評価等
パート3	テキスタイルⅡ	ニットの概要について ニット機械について コンピュータにおいてジャカード柄、組織柄の制御を行い編み出し、作品を制作する 作品の評価と成果表現	 ◎ 	 ○ ◎	 ◎ ○	◎ ◎ ○	a:無縫製横編機を利用した作品作りに興味を持ち、意欲的に取り組んでいる。 b:テーマに沿ったデザインを表現した作品を作成し、そのデザインの意図をレポートとして表現し、発表することができている。 c:ジャガード柄、組織柄の作成、制御の手順を理解し、作品を制作することができている。 d:ニットの特徴・特性・編地の基本組織(平編み（天竺編み）/ゴム編み（リブ編み）/パール編み（リンクス編み）)について理解している。無縫製横編機の特徴について理解している。	学習状況の観察 製作品 作品発表 自己評価・相互評価 等
パート4	染色技術Ⅱ	抜染の概要について のれん柄について 縫製について 作品の評価と成果表現	 ◎	 ◎ ○	◎ ○ ◎ 	○ ○ ○ 	a:抜染による作品作りに興味を持ち、意欲的に取り組んでいる。 b:テーマに沿ったデザインを表現した作品を作成し、そのデザインの意図をレポートとして表現し、発表することができている。 c:漂白・精錬、染色、抜染、縫製の手順を理解し、作品を制作することができている。 d:抜染作業内容について、それぞれの作業の意義を知り、抜染による作品の特徴とデザインする上での留意事項について理解している。	学習状況の観察 製作品 作品発表 自己評価・相互評価 等

パート5	CG Ⅱ	CG ソフトの種類と概念について Photoshop での作図 Illustrator での作図 作品の評価と成果表現	 ○ ○ ◎	 ◎ ○	 ◎ ◎ ○	◎	a: CG ソフトを利用した作品制作に興味を持ち、意欲的に取り組んでいる。 b:テーマに沿ったデザインを表現した作品を制作し、そのデザインの意図を発表資料として表現し、発表することができている。 c: IllustratorやPowerPointの利用技術を理解し、作品を制作することができている。 d: CG ソフトで制作することの意義を知り、見る人がわかりやすい資料作りとはどのようなものかを理解する。	学習状況の観察 製作品 作品発表 自己評価・相互評価 等
パート6	3Dプリンタ	グループワークを行いコンセプトを考える コンセプトを元にInventor を使い３Dデータの作成を行う ３Dプリンタを使い、試作を行い、修正点を話合う。 修正を行い、製品がどのように改善されたかを検証する。	◎ ◎ ◎	 ◎ ○ ◎	 ◎ ○	○ ○ ○ ◎	a:グループワークに興味・関心をもって参加している。 b:コンセプトにそって設計をし、Inventor を使い形にすることができる。 c:３Dプリンタを使い、試作を印刷する。印刷した物を見ながらコンセプトにそって作られているか、検証することができる。 d:試作が機能をみたしているか検証し、発表することができる	学習状況の観察 製作品 レポート、発表 自己評価・相互評価 等
パート7	インテリアテキスタイル	インテリアファブリックとカラープランニング テキスタイルパターンの特徴を理解、目標のファブリックについて柄、配色の草稿作成。 パターンの単位図形を作成、製版、布におくりをつけてプリントし、パネルに貼る。 インテリアパースレイアウトによる効果的な作品のイメージづくり 作品の評価と成果表現	◎ ◎	○ ◎ ◎ ◎ ◎	 ◎ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:インテリアファブリックに使われるテキスタイルパターンの基本構成に興味・関心を持ち、カラープランニングを含むコンセプト作成に意欲的に取り組んでいる。 b:インテリアにおけるファブリックの役割や効果を思考し、コンセプトに沿った柄、配色、テクスチャーの表現に適切に活かすような判断、工夫ができる。 c:製版の基本技術を理解し、作品がエンドレスパターンの布地になるように適切な単位図形の版作成とおくりをつけた作品をつくることができる。作品イメージをインテリアパース上にレイアウトし、プレゼンテーションに活用する。 d:発表により、自己評価をとともに、他の人と相互評価を行うことで、多方面からインテリアファブリックにおける総合的な知識理解を深める。	学習状況の観察 製作品 作品発表 自己評価・相互評価 等
パート8	CAD Ⅱ	概要説明 コンセプトの作成 アイデアスケッチ 図面の作成 Inventor による制作Ⅰ Inventor による制作Ⅱ Inventor による制作Ⅲ Inventor による制作Ⅳ Inventor による制作Ⅴ Inventor による制作Ⅵ 図面のプリントアウト プレゼン	◎ ○ 	 ◎ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 	 ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ○ 	◎ ◎ ◎	a:アイデアをもとにパソコンで 3D 化する工程に興味を持ち、意欲的に取り組んでいる。 b:使用できる製品のデザインを考え、さらにそれをパソコン３Dとして表現できる。 c:3D ソフトの使用目的と使用方法を理解し、必要に応じて適正に使用できる。 d:デザインに関する知識と３DCAD に関する知識を身につけ、社会におけるデザインの役割を理解できる。	学習状況の観察 制作品 レポート、発表 自己評価・相互 評価等

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。